知ってるようで知らなかった大阪「大阪の地名由来」

**大阪歴史案内人　沖本然生**

**■地名は、第一級の歴資料**

地名の起源は

地質・地形・自然形状・自然環境　　「自然地名」

政治・産業・経済・宗教・文化　　　「人名地名」

地名の魅力はその総合性にある。

たった一つの地名から、その地域にまつわる歴史や文化、地形、環境などあらゆるものを引きだすことができる。それらの要素が複雑に混ざり合い、もつれにもつれた地名もある。

大阪は古代から連綿と続く歴史の街である。

地名は古代の謎を解き明かすこととなる。

世代、時代を越えて継承されてきた地名は文化遺産ともいえる。

地名をきっかけとして、ぜひとも大阪の街の歴史的価値を知っていただき、親しんでほしい。

**■自然地名　水に関係**

**島、**津、　　　　江、　　　　州、　　　浜、　　　崎、　　　橋、　　　堀川、

**■大阪には山谷は少ない**

**■自然地名　　自然環境**

**■人名近世　開発者による**

**■人名古代**

**■宗教**

**■城下町地名**

**■産業地名**

**■文化地名**

**■大阪環状線　駅名由来**

**■なにわ**

**浪速**「日本書紀」の神武天皇即位前記条に東征難波埼で潮流の速度が速かったことから、「なにわ」は「浪速なみはや」を転訛したとある。

**難波**「日本書紀」によると古代交通の要衝だった上町台地の北端、瀬戸内海の東端は水の流れ強く航海に難儀したので「難波」の字をなにわを当てた。飛鳥時代、難波京（なにわきょう）が置かれた。

旧東成郡と西成郡が、和銅6年（713年）以前にはそれぞれ難波大郡、難波小郡と称したことから、古代においては大阪全体を「難波」と呼んだ。

**浪花**江戸時代、道頓堀５座の人形浄瑠璃で名をなした竹本座がのち「浪花座」となる。

その後、文化的にこの「浪花」がよくつかわれるようになった。

**浪華**浄瑠璃の演目に「浪華」の文字を使った

**■なにわの語源**

**■難波の変遷**

**■烏瑳箇→小坂→大坂→ 大阪**

**日本書紀には烏瑳箇（おさか）**

**「大坂」の初見・・・明応七年（１４９８）**

**蓮如上人の消息に「摂津東成郡生玉ノ庄内大坂」とみえ、　石山本願寺のことを「小坂本願寺」と称す**

**■「大坂」「大阪」混在していた証拠は**

**■近畿と関西どちらが大きい**

**■近畿とは**

畿内の近くを近畿という

**■ 畿内**

「畿内」とは天皇の住むところ。直轄地。

摂津、河内、和泉、大和、山城

それ以外、諸国は七道に分類され、畿内からの遠近によって近国(きんごく)・中国・遠国(おんごく)に分けられた。

遠国は都から遠く離れた国々。

関東・越後以北、石見(いわみ)・安芸(あき)以西、四国の伊予・土佐、および九州の諸国。

**■五畿七道**

　[7世紀](https://ja.wikipedia.org/wiki/7%E4%B8%96%E7%B4%80)後半からの[日本](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%97%A5%E6%9C%AC)国内の[地方](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%9C%B0%E6%96%B9)[行政区分](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E8%A1%8C%E6%94%BF%E5%8C%BA%E5%88%86)

**■関西**

愛発関＝近江国と越前国の国境に延暦8年（789）まで置かれた関所。

その後、東海道の逢坂関、不破関、そして箱根関と移るがその関所より東が関東であった。ただし関より西は別に関西とは言わなかった。

近畿エリアは決定できるが関西は時代によりとらえ方が違うのでエリアは決定できない。

**■文化の境界　関ヶ原(不破関)**

関ヶ原町と垂井町はどちらも岐阜県でありながら西と東の分岐点で文化がまるで異なる

**■何故か公的機関は「近畿」を付けたがる**

**■結果として**

「大阪の人は関西地方という言い方はしても、近畿地方とはあまり言いません」

近畿は明治時代の教科書で登場した言葉で歴史的に浅い。

東京に象徴される『関東』に対して『関西』という言い方を好む。

**■好字二字化令（713年/和銅官令）**

倭(やまと) ・ 大倭(おほやまと)→大和(やまと)

木　→　紀伊(き)　　粟　→　阿波　　泉　→　和泉(いずみ)　津　→　摂津（せっつ）　磯　→　伊勢

島　→　志摩　　　近 淡 海(ちかつあふみ)　→　近江(あふみ)　遠 淡 海(とほつあふみ) →　遠江(とふみ)

吉備道中 →　備中　　難波大郡　 →　東成郡

現代に残る難読地名の源泉

**■キタ　ミナミ？**

大坂の街は、北はキタへ　南はミナミへ膨張した

**■梅田の由来**

寛正２年（1461） 12月26日付の「中島崇禅寺寺領目録」

**■大阪　VS　梅田**

JR「大阪駅」　私鉄・地下鉄「梅田駅」

**■明治のはじめ梅田周辺**

**■なんと梅田は江戸時代大坂七墓の一つ**

**■阿倍野、安倍野、阿部野の謎**

**■現代では**

**■さて当事者の近鉄は**

**■大阪には番地（街区符号）に個人名があるところがある**

**■地名は、第一級の歴史資料**

言葉の「生きた化石」といわれる地名の探求は、古代語の研究とおなじ意味になるので、地名の由来を知ることは古代を知ることとなる。

**■ 日本人は大阪の歴史を知らな過ぎる。大阪人であっても然り**

日本史でも縄文、弥生の次は奈良、平安となる。間の難波、大阪が抜け落ちている。

日本の中心として

　　　　**三輪＞河内＞平城＞平安**

大阪は地域ごとに個性があり、大体1000年を超える歴史がゴロゴロ満ち溢れている。

これからは大阪に住んでいることに、大阪で生まれたことに誇りを持ちましょう